

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会福祉	講義	2	森合 真一

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

一人ひとりの幸せを目指す社会福祉政策、生活の質およびフィールドにおける実践の内実は決して十分とは言えませんが、私たちは社会福祉の実現を目指していく努力を惜しんではならないと考えます。このような視点に立って、以下の5項目を到達目標とした授業を進めます。

- 1.現代社会における社会福祉の意義、歴史的変遷を説明できる。
- 2.社会福祉の法体系、制度および行財政の要旨を説明できる。
- 3.社会福祉における公私の役割を説明できる。
- 4.相談援助の方法および福祉専門職の役割を説明できる。
- 5.社会福祉関連領域の概要を説明できる

【授業の概要】

2000(平成 12)年に社会福祉事業法が改正、介護保険法もスタートし、その後、次世代育成支援対策や障害者総合支援法の施行など、社会福祉制度は大きな変革を辿っています。このような現状において社会福祉の意義や法体系の全体像を把握できるよう、近年の社会状況を踏まえながら授業を進めます。

【全体の授業計画・内容】

1. 現代社会と福祉① 現代の生活と社会福祉
事前学修課題:シラバスを読み、テキストの該当項を熟読する【0.5 時間】
事後学修課題:各自、配布されたレジュメを整理し、理解する。【0.5 時間】
2. 現代社会と福祉② 社会福祉の理念と概念、社会福祉の展開
3. 社会福祉の歴史的展開① 欧米の社会福祉の歴史的形成
4. 社会福祉の歴史的展開② 日本の社会福祉の歴史的形成
5. 社会福祉の法律① 社会福祉法、福祉六法
6. 社会福祉の法律② 福祉六法および社会福祉に関連する法律
7. 社会福祉の制度と実施体系
8. 社会福祉従事者
9. 社会福祉における相談援助① ソーシャルワークとは、直接援助技術
10. 社会福祉における相談援助② 間接援助技術、関連援助技術
11. 子ども家庭福祉の概要
12. 高齢者保健福祉の概要
13. 障がい者福祉の概要
14. 生活保護制度の概要
15. まとめの問題演習

一斉試験

【学習のあり方】

日頃から社会情勢や社会問題に関心を持ち、ニュースに触れるよう心掛けましょう。

講義には指定のテキストが必要です(参考文献は不要)。必ず持参すること。

講義後、レジュメ等を使用して復習しましょう。

【成績評価】

試験が 80%、平常点(講義中の態度や意欲など)が 20%で評価をします。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

必要があれば、課題にコメントを記入し返却します。

【テキスト】

福祉の基本体系シリーズ⑩ 社会福祉の形成と展開／井村圭壯、今井慶宗 編著／勁草書房、2019 年

【参考文献】

新・はじめて学ぶ社会福祉④ 社会福祉概論／杉本敏夫 監修／ミネルヴァ書房、2017 年

【実務経験の有無】

私は、社会福祉士(ソーシャルワーカーの国家資格)および介護支援専門員(介護保険制度で位置づけられている公的資格、ケアマネジャー)の有資格者として福祉施設、開業社会福祉士、市教育委員会におけるスクールソーシャルワーカーなどの実務経験があります。これら広範な(高齢者・障害者・児童等の)要援護者に対するソーシャルワーク実践を授業において紹介する。